

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	広聴・広報活動の充実と情報公開の推進	コード	作成者	役職	市長室秘書調整課長
		06-10-41	藤田 政宣	氏名	藤田 政宣
				電話	64-1800
				このシート作成に要した時間	1.5 時間

この施策の アピール ポイント	アパート等の建築物が増加する中、町内会に加入していない世帯が増えていることから、広報紙の不達世帯を少しでもなくそうと、コンビニエンスストアに広報紙を配置して、市民の利便性を図っている。
-----------------------	--

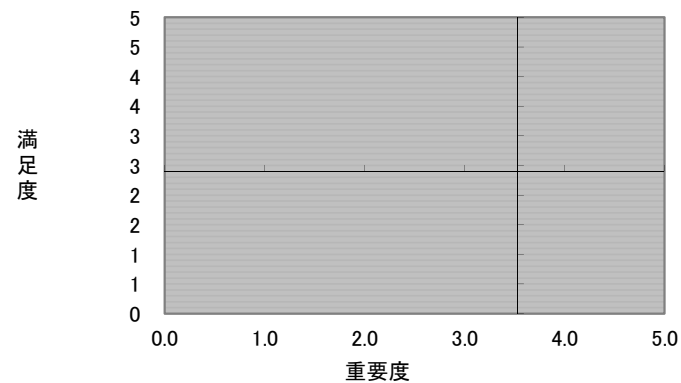
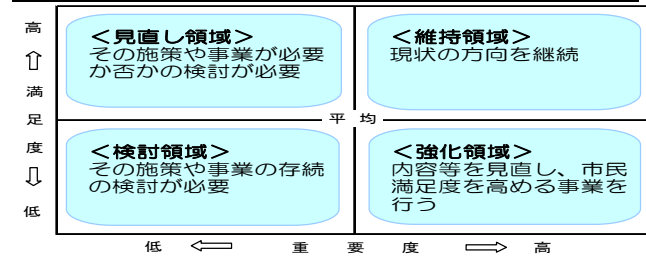
この施策の 平成25年度の 施政方針	記載なし
--------------------------	------

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想（大項目）	行政「計画推進」
	基本計画（中項目）	計画を実現する行政
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市政に対する理解と協力を得るため、市民に行政情報を的確に伝え、市民が市政に何を望んでいるのかを的確に把握し、市政運営に反映させる。また、ホームページによる行政情報・刊行情報を充実させ、全国へ備前市の紹介を行う。 情報公開については、適正な行政事務の執行を図るため、市民に適切な行政情報を提供する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	市民の要望は近年多様化しており、その意見・要望を的確に把握し活かしていくことが重要である。そのためにも、市民の生の声を充分聴き市政に反映させる必要がある。 情報公開については、行政運営の透明性の向上を図るため、市民に対して積極的に行政の情報提供をする必要がある。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広聴活動の充実 ・ 広報活動の充実 ・ パブリックコメント制度の周知 ・ 情報公開の推進 ・ 個人情報保護制度のコンプライアンスの確立 ・ ・ 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度				H25
重要度				
満足度				



調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民アンケートでは、広報誌を読んでいる市民の割合が83.1%で、調査開始以降常に8割以上をキープしている。一部に「広報誌の内容がわかりづらく、読みにくい」という意見はあるため、今後も市民が読みやすく、親しみやすい紙面づくりを目指す必要がある。 また、若い人を中心に急速に広がっているフェイスブックなどのSNSに取り組んでいく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H23	H24	H25			H26	H28
成果指標 広報びぜんを読んでいる市民の割合	目標						H26	85.0
	実績	84.1	83.1			市民意識調査による	H28	90.0
	達成率 %						H34	90.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標① 市の情報公開が進んでいると感じている市民の割合	目標	17.0	18.0				H26	
	実績	15.1	17.3			市民意識調査による	H28	50.0
	達成率 %	88.8	96.1				H34	90.0
	ベンチマーク						—	—
参考指標②	目標						H26	
	実績						H28	
	達成率 %						H34	
	ベンチマーク						—	—
参考指標③	目標						H26	
	実績						H28	
	達成率 %						H34	
	ベンチマーク						—	—

⑦ 目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
まちづくり推進課	意見交換会事業	各地域の住民から意見を聴取し、広聴広報の参考とする。
各課	ホームページへの最新情報提供	各課の情報を常に更新し、最新の情報を提供

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		市の発行する広報誌「広報びぜん」は、市民にとって必要不可欠な情報提供・お知らせの手段であり、また、ネット環境にない市民にとって唯一の情報提供であることから妥当である。
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3		市民に全戸配布を基本としている広報誌は、8割以上の方に読まれており、発行・配布の方法は最適であるが、さらにコンビニエンスストアに配置することによって市民の利便性の向上を図っている。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		市民への情報提供は行政の使命であり、今後も読みやすい、ぜひ読んでみたいと思っただけのような紙面を検討、発行していく必要がある。
進行年度(H26年度)の取組内容 (課題解決状況)			読書率は現在80%以上を保っているが、さらなる向上を目指して平成26年度途中から、ユニバーサルデザインの書体を取り入れ、紙面全体が読みやすく、見やすくなるよう改善する。また、ホームページの充実とともに、市のフェイスブックページのほかICTを活用した情報伝達手段の拡充を図る。
翌年度(H27年度)の取組目標			限られた広報紙面をいかに有効に利用できるかを研究するとともに、市政の周知のみならず、市民と行政の協働によるまちづくりの実現に向けて、情報の共有ができるよう創意工夫する。また、また、ホームページの充実とともに、市のフェイスブックページのほかICTを活用した情報伝達手段の拡充を図る。
二次評価者コメント			広報紙は一番重要な市民への情報連絡ツールですので、引き続き創意工夫をお願いします。 一方で、ホームページ、フェイスブックページの充実を図るとともに、新たな情報連絡網としてICT街づくり事業への積極的な関与を進めてください。
役職 氏名	市長室長 谷本 隆二		基本施策への 貢献度 3 中立

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円、人）										施策への 貢献度	
			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01 広聴事業	あなたからのご意見箱対応事務	単市	0	79	0.01	0	0	0.00	0	0	0	0	0	☆☆☆
	公共施設ご意見直行便対応事務	単市	0	0	0.00	18	0	0.00	0	0	0	20	☆☆☆	
	メール等でのご意見対応事務	単市	0	181	0.02	0	159	0.02	0	190	0.03	0	☆☆☆☆	
	パブリックコメント制度推進事務	単市	0	101	0.01	0	0	0.00	0	0	0	0	☆☆☆	
02 相談事業	合同相談事業	単市	0	159	0.02	0	159	0.00	0	220	0.03	0	☆☆	
	法律相談事業	単市	184	0	0.00	184	0	0.00	184	0	0	189	☆☆	
	東備法律相談センター運営負担金事務	単市	150	0	0.00	150	0	0.00	150	0	0	150	☆	
03 施設見学会事業	マイタウンマイクロバス運営事業	単市	0	159	0.02	0	0	0.00	0	0	0	0	☆	
04 広報びぜん発行业業	広報びぜん発行业業	単市	9,288	12,085	1.33	9,078	7,462	1.04	9,084	5,734	0.81	9,654	☆☆☆☆☆	
	広報配布事業（自治連絡費：配付手数料）	単市	3,508	1,766	0.19	3,374	685	0.10	3,424	1,546	0.22	3,704	☆☆☆☆☆	
	備前市市勢要覧作成事務	単市							4,153	934	0.13	140	☆☆☆	
05 ホームページ作成事業	ホームページコンテンツ作成事務	単市	0	1,047	0.11	0	1,413	0.18	0	1,392	0.19	0	☆☆☆☆☆	
06 情報公開及び個人情報保護事務	情報公開及び個人情報保護事務	単市	55	2,087	0.23	68	2,277	0.34	54	713	0.09	161	☆☆☆☆☆	
この施策に費やした資源（単位：千円、人）			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
			13,185	17,664	1.94	12,872	12,155	1.68	17,049	10,729	1.50	14,018		